

## まちの財政状況 平成27年度決算

壮瞥町では、町民の皆さんが納めた税金や国・道からの補助金、町債（借入金）などを財源として、さまざまな事業を実施しました。

平成28年第3回定例議会において、平成27年度決算が認定されましたので、決算の概要についてお知らせします。

### 歳出総額は 53億7,092万9千円

(※一般会計・特別会計合計) 前年度比9.2%の増 (4億5,415万8千円増)

#### ●一般会計

歳入決算額 **43億5,328万円** (前年度比12.8%の増)

歳入総額は43億5,328万円で、前年度と比較すると4億9,230万円の増額となりました。

主な増額要因としては、国庫支出金で地方創生関連事業に対する交付金や壮瞥・久保内小学校改修事業に対する補助金の増加、諸収入で地熱資源開発調査に対する助成金の増加が挙げられます。

また、地方交付税と地方交付税の実質的な振替財源である臨時財政対策債の総額は、前年度と比べて2,831万円増の20億3,209万円となりました。

一方、町の貯金にあたる基金のうち、財政調整基金の繰入（取崩）は、前年度と比べて5,521万円減の4,996万円となりました。

(単位：千円)

区 分	平成26年度		平成27年度		比較増減 ②-①
	総額 ①	構成比	総額 ②	構成比	
町税	399,817	10.4%	414,095	9.5%	14,278
地方交付税	1,884,822	48.8%	1,915,832	44.0%	31,010
国・道支出金	533,332	13.8%	700,115	16.1%	166,783
町債	327,658	8.5%	449,262	10.3%	121,604
繰入金	204,101	5.3%	104,575	2.4%	▲ 99,526
その他	511,244	13.2%	769,399	17.7%	258,155
歳入合計	3,860,974	100.0%	4,353,278	100.0%	492,304

歳出決算額 **42億1,563万円** (前年度比12.7%の増)

歳出総額は42億1,563万円で、前年度と比較すると4億7,521万円の増額となりました。

性質別に前年度と比較すると、投資的経費は、蟠渓地域地熱資源開発調査委託料や幌別硫黄鉱山坑廃水処理業務委託料、子育て応援住宅建設工事の増加のほか、新規事業として、久保内小学校外壁及び屋根改修工事、壮瞥小学校体育館暖房機改修工事、壮瞥小学校管理職住宅建替工事を実施したことなどにより、前年度比4億2,679万円の増額となりました。

一方、公債費は、借入額が大きい平成14年度過疎対策事業債（借入額：3億8,360万円）の償還を前年度に終えたことなどにより、前年度と比べて4,083万円の減額となりました。

(単位：千円)

区 分	平成26年度		平成27年度		比較増減 ②-①
	総額 ①	構成比	総額 ②	構成比	
人件費	705,318	18.9%	698,667	16.6%	▲ 6,651
物件費	532,374	14.2%	581,080	13.8%	48,706
維持補修費	69,032	1.8%	77,324	1.8%	8,292
補助費等	509,610	13.6%	481,032	11.4%	▲ 28,578
投資的経費	680,720	18.2%	1,107,511	26.3%	426,791
公債費	596,554	15.9%	555,726	13.2%	▲ 40,828
繰出金	348,482	9.3%	372,680	8.8%	24,198
扶助費等	298,333	8.0%	341,611	8.1%	43,278
歳出合計	3,740,423	100.0%	4,215,631	100.0%	475,208

※百分率の算出にあたっては、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位表示としているため、その和は必ずしも100%に一致しない。

#### ●特別会計の決算

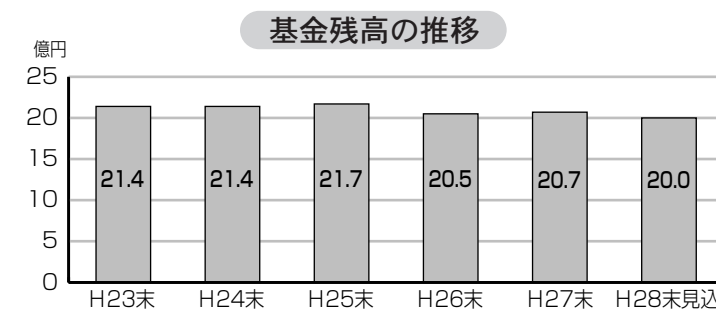
(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	486,647	460,355	26,292
後期高齢者医療	41,929	41,237	692
介護保険	319,760	305,184	14,576
簡易水道事業	156,534	156,001	533
集落排水事業	192,979	192,521	458

#### ●基金残高の状況 (※基金は家庭での貯金にあたるものです)

特定目的基金の国際交流基金や国鉄胆振線代替基金等では、例年どおり各事業にかかる経費分の繰入を行いました。また、財政調整基金では、4,996万円を繰り入れましたが、前年度からの繰越金を含め、1億1,559万円を積み立てたことにより、前年度に比べて6,564万円の増となりました。その他、公債費の償還に充てるために積み立てている減債基金では、3,000万円の繰入を行いました。基金全体としては、前年度末に比べて2,695万円の増（前年度比1.3%の増）となりました。

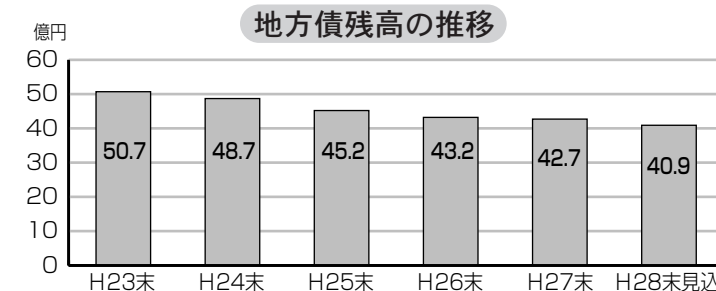
区 分	平成27年度末
財政調整基金	6億7,150万円
減債基金	5,188万円
国際交流基金	3億7,610万円
国鉄胆振線代替基金	1億2,340万円
その他特定目的基金	4億925万円
備荒資金組合納付金	4億4,149万円
合 計	20億7,362万円



#### ●地方債残高の状況 (※地方債は家庭での借金にあたるものです)

地方債残高は42億6,872万円となり、前年度末に比べて5,020万円の減（前年度比1.2%の減）となりました。平成21年度をもって大型事業が終了し、以降の地方債の発行を抑えたこともあり、地方債残高は減少傾向にあります。

区 分	平成27年度末
公営住宅建設事業債	9億8,020万円
過疎対策事業債	14億7,379万円
臨時財政対策債	13億8,954万円
その他	4億2,519万円
合 計	42億6,872万円



#### ●平成27年度決算に基づく健全化判断比率等の公表について

健全化判断比率とは、まちの財政状況の健全度を示す指標で、毎年度の決算について、その比率を議会に報告するとともに、公表することが義務づけられています。

本町の平成27年度決算に基づく健全化判断比率と公営企業の資金不足比率をお知らせします。

##### 健全化判断比率

健全化判断比率	壮瞥町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—※	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—※	20.0%	30.0%
実質公債費比率	12.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	2.6%	350.0%	

##### 資金不足比率

資金不足比率	壮瞥町	早期健全化基準
簡易水道事業特別会計	—※	20.0%
集落排水事業特別会計	—※	20.0%

※「—」は、赤字額がないことを表しています。

※「—」は、資金不足がないことを表しています。